

令和2年度 近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

近畿農政局長賞（GAP部門）

気象リスクにも対応した、経営継続可能なGAP活動の実践

しま

ぶかい

JAあわじ島GAP部会

代表：田辺 健 兵庫県南あわじ市

主な取組

地域の若手農家である田辺氏は、タマネギ栽培120年以上の歴史を有する「淡路島たまねぎ」の持続可能な経営の必要性を考え、今後の産地継続や経営継続を考える志を共にする生産者4名とともに、令和元年にJAあわじ島GAP部会を設立。令和2年6月にGLOBALG.A.P.の団体認証を取得し、これまでの出荷調製方法を変更するなど積極的な改善により作業時間が短縮され、産地内でのタマネギ栽培経営の新たなモデルづくりとなっている。

また、部会員が気象予報士の資格を取得し、気象データ等から予測される栽培期間中の異常気象や病害虫に対するアラートをSNSを利用して部会内で情報共有するとともに、GAP継続に向け積極的な販路開拓を行い、GAP認証で増える経費負担を市場単価に上乗せした取引を認証1年目から実現している。

JAあわじ島・関係機関は、産地の改善を進めていくけん引役を担うという大きな目標を持って、部会活動を行っている。

